

狩野みなとはおねだり上手な
ちゅき♡ちゅき♡ご奉仕わんこちゃん♪

トラック01_わんこのしゅきしゅき目覚まし

【みなと】

「せーんぱーぱーいー！ ドーン
ッー！」

【みなと】

「えへへ♪ 先輩、朝ですよ♪ 今日も愛し
のわんこが起こしにきました♪ ほーら、す
りすり♪ すりすり♪」

【みなと】

「ムフー♪ こうやって抱き着きながらスリスリ
すると、ぽかぽかーってして安心しちゃいま
すう♪」

【みなと】

「最近はずっかり寒くなってきましたからね！
学園へ畑仕事をしに行く前に先輩成分を補給し
ておかないと元気が出ません！」

【みなと】

「だから、先輩からもぎゅうううう……って私の
事、抱きしめてください！ さあさあ♪」

【みなと】

「わふううう……えへへ♪ 朝から抱きしめて
もらえて幸せすぎですよ♪」

【みなと】

「先輩の顔も、鼻と鼻がくっついちゃうくらい近
くて、ドキドキしちゃって……えへへ♪ なん
だか恥ずかしくなっちゃいますね♪」

【みなと】

「あ、先輩も顔が赤くなってきて……わふう♪
抱き着かれて照れちゃう先輩、とっても可愛い
♪ ……って、ああ！ 今日をそらしました
ね？ ダメですよー しっかり私の事見てく
ださい！」

【みなと】

「はい、そうです♪ そのままいっぱい私の事見てください♪ 先輩の愛しい愛しい恋人わんこですよぉ♪」

【みなと】

「わふ♪ わふわふう♪ せんぱい♪ せんぱい♪ えへへ♪ 呼んでみただけです♪」

【みなと】

「先輩♪ 先輩♪ 先輩！ 先輩？ せんぱい！ せんぱい♪」

【みなと】

「わふう♪ 先輩って呼ぶだけで胸が幸せ一杯になっちゃって……恋って素敵ですね♪」

【みなと】

「私、先輩と出会えて本当に良かったです……大好きになれて、恋人になれて……えへへ、柄にもなくちよっと感傷に浸っちゃいました♪」

【みなと】

「先輩と会おう前は恋なんて食べられないものに興味は無かったんですけどね。妹にもこのままじゃダメって言われてたくらいなんですよ？」

【みなと】

「でも、今はもう先輩にどっぷりつかっちゃって、もう恋してなかった頃を思い出せないくらいハマっちゃってます♪」

【みなと】

「今更先輩がいない日々なんて想像できないですから！ 純真無垢だった私を恋に溺れさせた責任、ちゃんと取ってくださいね♪」

【みなと】

「あん♪ わあ、先輩から抱きしめてくれるなんて嬉しい♪ もっと強くても大丈夫ですから、ぎゅうううってしてください♪」

【みなと】

「わっ、わっ♪ 頭いい子いい子してくれるなんて……わふうう♪ 先輩の大きな手気持ち良くて、トロけちゃううう♪」

【みなと】

「ぎゅってされて胸押し付けられて、トクン、トクンって先輩の鼓動感じちゃいます♪」

【みなと】

「先輩も私の音聞こえてますか？ 私も先輩とぎゅって抱きしめあえて、ドキドキしちゃってるんです♪」

【みなと】

「はううう……もう何度も裸で抱き合ってるのに、未だにドキドキしちゃって恥ずかしくなっちゃいますね」

【みなと】

「でも、いつまでも初心な恋人は幸せ者だって妹もいつてましたから、きっとこのままでいいんですよね♪」

【みなと】

「先輩、好きです、大好きです♪ 私はいつまでも先輩の事が大好きでドキドキきゅんきゅんしちゃいますから、先輩も私ですっとドキドキしてくださいね？」

【みなと】

「せんぱい……んっ、ちゅっ♪」

【みなと】

「ん……ちゅっ、ちゅっ……れろ、ちゅぶ、ん……
…んちゅ、れる……ちゅぶ」

【みなと】

「んっ、ぶはっ……はうう♪ 朝一番の先輩
とのキス……甘くておいしくて、大ちゅき♪」

【みなと】

「ドキドキが止まらない……もっとキスしたいっ
て、先輩が欲しいって思っちやいますぅ……
…」

【みなと】

「先輩……もっとキス、しちやいますね？」

【みなと】

「んっ、ちゅっ、れろおっ……ぴちやつ、れろっ
……んちゅ、ちゅぶっ♪ んゝちゅっ♪
ちゅうう……ちゅ♪」

【みなと】

「はむっ♪ んちゅっ……ちゅぶっ……ちゅっ……
…ちゅっ……しえんぱい、しゅきい……ん……
…ちゅっ……ちゅっ……はあ、はあ、んっ……
ちゅぶっ……ちゅっ……」

【みなと】

「あっ、ちゅっ、れろっ……んっ、れろれろ……
…くちゅ、んん、れろっ……くちゅ……れ
ろっ、ちゅっ……ちゅくっ……」

【みなと】

「れろっ……んっ、れろれろ……くちゅ、ん
ん、れろっ……しゅき、しゅきしゅきい♪
んっ……くちゅ……れろっ、ちゅっ……ちゅ
くっ……ちゅぱっ……」

【みなと】

「ふう……えへへ♪ ちょっとエッチなキスしちゃいました♪ 恋人同士のキス……甘くておいしくて大好きです♪」

【みなと】

「先輩はどうでしたか？ 私のキスでもっとドキドキしてくれましたか？ って聞くまでもありませんでしたね♪ 顔真っ赤っかでバレバレですよ♪」

【みなと】

「嬉しい……好き、好きすぎ、大好きです先輩。出来る事なら一生先輩とキスしてたい……ってそんなことしたら唇がふやけちゃいますね」

【みなと】

「でも、一生は無理かもですけど、今は……」

【みなと】

「んっ、んちゅ、ちゅぷ……んぷっ……れろっ、れろっ……ちゅっ、れろっ……んぷっ、んんっ！ しえんぱい、激しっ！ んん——……んっ、ちゅっ……んちゅっ、ぺろっ、れろれろれろっ……」

【みなと】

「ちゅぷっ……！ ちゅぶぶっ、ちゅぱ、ちゅぶ、ちゅくっ……！ ちゅぶぶっ、ちゅぱ、んちゅ……！ ぴちゅ、くちゅ……！ んん……！ んふっ……！」

【みなと】

「ぺろ、ぴちやっ……ちゅ、ちゅうう……あむっ、はむっ、ちゅるっ、れろっ、じゅりゅ、じゅるじゅるじゅる……れろっ、ぴちゅっ……ぷはっ」

【みなと】

「しえんぱい……しえんぱい♪ 好きい、すきすきすきすきっ！ もう好きすぎて私おかしくなっちゃいますよお♪」

【みなと】

「ん、ちゅ♪ ちゅっ、ちゅ♪ はむ、ちゅ、ちゅ♪ れろっ……ちゅぶ♪ んちゅっ♪」

【みなと】

「唇だけじゃなくて、頬っぺたにも……ちゅっ♪ ちゅ、ちゅっ♪ はむちゅ♪ れろれろ……んちゅっ♪ ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「先輩、彼女わんこのペロペロ気持ちいいですかあ？ んちゅっ♪ ちゅっ、ちゅ♪ れろれろ……んちゅっ♪ ちゅ、ちゅぶっ♪」

【みなと】

「えへへ♪ 本物のわんちゃんみたいに沢山ペロペロしちゃいますう♪」

【みなと】

「れろれろ……んちゅっ♪ ちゅ、ちゅ♪ ちゅぶっ、れろ……れろれろ……ちゅぶ♪ ちゅぶ、はむっ、んちゅっ♪ すき、すきすきい……♪ ペろペろ……ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「わふう♪ 次は反対にもキスしてあげますね♪」

【みなと】

「こっちの頬っぺたにも……ちゅ♪ ちゅっ、ちゅ、ちゅっ♪ ちゅぶっ、ペろペろ……んちゅ♪ れろっ、ちゅ♪」

【みなと】

「はうう♪ おもちみたいにもちもちしてておいしくて……あゝゝむ♪ はむはむ……ちゅっ、ちゅ♪ ペろペろ……ちゅ、ちゅうう♪」

【みなと】

「はむはむゝ♪ ちゅっ、ちゅ♪ 先輩のもちもちほっぺおいひいれすゝ♪ んちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ ペろペろ♪ れろれろ……ちゅ♪」

【みなと】

「えへへ♪ 先輩、せんぱゝい♪ すりすり、すりすりゝ♪ 好き、好きい、大好きい♪ ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「ふふ♪ ほっぺだけじゃなくてお耳も真っ赤っかになっちゃって♪ 生まれたての赤ちゃんみたいで可愛いです♪」

【みなと】

「はむはむ♪ あむあむ♪ 先輩の耳たぶって大きくて舐めやすいですね。はむはむゝ♪」

【みなと】

「あはは♪ お耳真っ赤っかになってますね♪ 顔を見なくても照れてるのが分かります♪」

【みなと】

「ムフー♪ 先輩ったら、結構ウブなところありますねゝ♪ そ・れ・な・らゝ♪ ふうううゝゝゝ……（息吹き込み）」

【みなと】

「あん♪ 体ビクビク震わせてとっても気持ちよさそうです♪ もっともってあげますね？ ん、ふうううゝゝゝ♪ ふうううゝゝゝゝゝ♪」

【みなと】

「んちゅっ♪ ちゅっ、ちゅ♪ えへへ♪
耳にもキスしちゃいましたあ♪ ちゅっ、
ちゅ、ちゅ♪ このまま先輩のお耳にも沢山キ
スしてぺろぺろしてあげちゃいます♪」

【みなと】

「はむっ、ちゅっ、れろ、んちゅ♪ れろれろれ
ろれろ……んちゅっ♪ ちゅぶっ、ちゅっ、ん
じゅるっ、じゅりゅじゅりゅ……ちゅぶぶっ…
…ぺろっ、ちゅっ♪」

【みなと】

「もっろきもひよくなっれ♪ ……んちゅっ、れ
ろっ♪ ちゅっ、ちゅっ♪ ぴちゅ、くちゅ…
…！ んんっ！ はあ、んっ……はあ……れろ
れろ……ちゅぶっ、んちゅ……れろれろれろれ
ろ……」

【みなと】

「はむっ、はむはむっ♪ ちゅっ……れろっ、
ちゅう、ちゅっ♪ じゅるっ、じゅりゅりゅ…
…ちゅううう……んちゅっ♪ れるっ、ん
ちゅっ♪ ちゅぶくちゅっ♪」

【みなと】

「ちゅっ♪ ちゅっ、ちゅっ♪ しえんぱい好き
♪ すきすき♪ 大しゅきい♪ すきい♪
んちゅっ♪ 誰よりも好きです♪ ちゅっ♪
ちゅぶっ♪ れろれろ……じゅりゅりゅ……ん
ちゅっ♪」

【みなと】

「はあ、ふう〜……ムフー♪ 抱き着きながら耳元ですきすき〜って囁くの、とってもラブラブな感じで嬉しくなっちゃいますね♪」

【みなと】

「このまま反対側のお耳にも、ちゅっちゅしてあげます♪」

【みなと】

「ん、もつときゅって抱き着いて……えへへ、せ〜んぱい♪ ちゅ♪ ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「好きです♪ 大好きです♪ ん〜ちゅ♪ れるっ、れろれろ……ちゅ♪ ちゅ〜……ちゅ♪ はむ、はむはむ……れろれろ」

【みなと】

「好きい〜……んちゅっ♪ すきすき♪ ちゅっ、ちゅうう〜♪ ちゅっ♪ はむ、んちゅっ♪ ちゅうう〜ちゅぱっ♪」

【みなと】

「もつと激しく、いっぱいしてあげますね♪ んちゅっ、ちゅっ……れちゅっ……ちゅぷっ……れるっ、くちゅぴちゅっ……ちゅっ……んちゅっ……れろっ……れろれろっ……ん〜ちゅっ……ちゅぱっ……んっ……れるっ……くちゅ……」

【みなと】

「はぷっ！ んぴちゅ、くちゅ……！ んんっ！
はあ……んっ……はあ……れろれろ……
んっ、くちゅ……！ ぐちゅ、ぴちゅ……！
ふああ……んちゅっ……れろれろ……！ れろ
れろれろれろ……ちゅううう……♪ ちゅ
ぱっ！ はあ、はあ……」

【みなと】

「ん、えへへ♪ 先輩のお耳たくさん堪能しちゃ
いましたあ♪ とってもおいしかったですよ？
ご馳走様ですう♪」

【みなと】

「これだけ楽しくて気持ちいいんですから、耳ペ
ロ、毎日の日課にしてもいいかもですね！」

【みなと】

「畑仕事の前に先輩を味わい尽くす……くううう
ん♪（イヌの鳴き声っぽく）考えただけで楽し
みになってきちゃいました♪」

【みなと】

「先輩？ 覚悟してくださいね？ これから毎日
いっぱいいっぱい！ 私の事堪能してもらっ
ちやうんですから♪」

【みなと】

「大好きです！ せうんぱい♪」

トラック02_わんこと落ち葉と秋の空

【みなと】

「あ、先輩！ 落ち葉は部室の裏に集めておいてくださいね。後で再利用しますから」

【みなと】

「いや、それにしても、すっかり周りの木々も葉をからしてしまいましたね」

【みなと】

「まだ二月下旬なのに……今年の寒波は凄すぎて畑の管理も大変ですよ」

【みなと】

「先輩が入部してくれて本当に良かったです。畑仕事も楽になってますし、なによりこんな静かで寒い畑に私一人だと、ちょっと寂しかったでしょうから」

【みなと】

「先輩のおかげでビニールハウスも立って、畑の規模も大きくなって……ほら、見てくださいこのさつまいも！ 学園の畑で採れたとは思えないほど大きくて立派ですよ！」

【みなと】

「先輩と二人で一生懸命育てましたからね♪ そう、これは私たち二人の愛の結晶といっても過言ではありません！」

【みなと】

「先輩♪ 嬉しいですか？ 勿論嬉しいですよね！ えへへ♪ やっぱ大好きな人と一緒に作った野菜を収穫するのが一番ですよ」

【みなと】

「でも収穫したら終わり、なんてことはないですよ？ むしろここからが本番といえるかもしれません！ そう、それは勿論……実食です！」

【みなと】

「私には畑と先輩、これさえあればいつでも元気でいられます！」

【みなと】

「先輩も、私たちの畑と私の事しか考えられないくらい、いっぱい夢中にしてあげますからね」

【みなと】

「覚悟しといてくださいよう？ 私はやろうと決めた事には全力疾走一直線の女ですから！」

【みなと】

「では早速先輩を虜にしちゃう為に……うりうりうりい……♪」

【みなと】

「えへへ……♪ 先輩の体に私の匂い擦りつけちゃいます！ マーキングって奴ですね♪」

【みなと】

「先輩はとっても素敵な人ですから、いつ他の女の子がすり寄ってきてもおかしくありませんから」

【みなと】

「うりうり……、いっぱい、い……っぱい！ 愛しの彼女の匂いを感じてください♪」

【みなと】

「登下校中も、畑仕事中也、授業中も、夜寝る時も……いつでも一緒にいる気分になれるように……私も、先輩の匂いをこうして嗅いで、寂しくならないように先輩成分を充電しちゃいます♪」

【みなと】

「すううううううう……はあああ……、んっ、スンッ、スンスンッ……」

【みなと】

「わふうううう……落ち着きますう……この逞しくてすっかりした体に抱きしめられると……あったかくて気持ちいい♪」

【みなと】

「本当に気持ち良くて……くううん（弱弱しい犬っぽい泣き声で）せんぱい……私、ドキドキが止まらなくなってきたやいましたよお……」

【みなと】

「胸がすっごく熱くなって、体が先輩の事欲しがっちゃってえ……んっ、はううう……私のエッチなところ……おまんこからお汁止まらなくなっちゃってますう」

【みなと】

「先輩はこんな、お外なのに発情しちゃうわんこみなとの事、嫌いになっちゃったりしませんか？」

【みなと】

「あ、先輩……ん、ちゅっ……♪」

【みなと】

「ちゅっ、んっ……れろっ……ぴちゃっ、ちゅるっ、ちゅっ、ちゅぱっ……はあ、はあ……」

【みなと】

「キス、嬉しい♪先輩も一緒に興奮してくれたんですね。おちんちんが私のおまんこに押し付けられちゃってるの、丸分かりですよ？」

【みなと】

「はい、私も先輩とセックスしたいですよ。でもここだとあれですから、部室の裏に行きましょう？　ね？」

トラック03_わんこのマーキング術

【みなと】

「はむっ、んっ……ちゅっ……んぢゅ……ちゅう
う、んぢゅるっ……ちゅっ、はむ、んちゅっ…
…ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「あっ……んじゅっ、ちゅう、ちゅっ……じゅる
るっ……ぷああっ、はああんっ♪」

【みなと】

「んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……好き……しゅ
きい……じゅるる……はあんむっ、ちゅう、ん
ちゅう……じゅっ、ちゅっ……」

【みなと】

「ぷはっ……早朝でまだ人がいないからって、お
外でこんなエッチなキス……恥ずかしいですね
♪」

【みなと】

「あ、いえいえ！ だからって外でするのが嫌と
かじゃなくてですね……？」

【みなと】

「え、ええと……そのう……こんなこと言うと、
先輩に引かれちゃうかもしれませんけど……」

【みなと】

「以前浴衣でシた時に気づいたというか、目覚め
てしまったというか……私、お外でのエッチが
大好きになっちゃったみだい……♪」

【みなと】

「だ、だからですね……？ 今もおパンツ濡れ
ちゃって、シミが出来ちゃってるんです……」

【みなと】

「ほら、先輩……スカートに手を入れて確かめ
て？」

【みなと】

「あんっ♪ わかりますか？ お外でエッチするって想像しただけで、こんなになって……♪ 今の私はエッチでスケベな発情わんこなんです♪」

【みなと】

「だからですね？ 先輩の事しか考えられないようにいっぱいエッチして、気持ちよくしてください♪」

【みなと】

「あっ！ はぷっ！ んんっ！ んちゅ、くちゅ……んんっ……れろれろ……くちゅ……んふっ……はあ……ちゅむっ……くちゅ……んちゅっ……ちゅぷっ、くちゅ……」

【みなと】

「んむう、んっ、ちゆるう……しえんぱいとのきしゅう……気持ちいい……んぢゅっ、ちゅっ、くちゅっ……んっ、ふわあ……気持ちいいよう……♪」

【みなと】

「んっ、ちゅ、ちゆるっ……はあん……んぱっ、あっ、あむううん……！ んちゅっ！
ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「もっろ、もっろ激しくしれえ……んっ、あっ……れちゅ、ちゅ、んぷっ、んじゆるう……むちゅっ」

【みなと】

「んちゅ、くちゅ……んんっ……れろれろ……くちゅ……んふっ……しゅきい……ちゅむっ……くちゅ……んちゅっ……しゅき、しゅきしゅきい……大しゅきい……ちゅぷっ、くちゅ……」

【みなと】

「んっ、ぷはっ……エッチなキス、大好きれすう……♪ って、ひyawっ！」

【みなと】

「わ、わあ！ 赤ちゃんみたいに持ち上げられて……あう、恥ずかしい……」

【みなと】

「これ、駅弁って恰好ですよ？ 前先輩の部屋で見たエッチな本に書いてありました」

【みなと】

「はううう……先輩のおちんちん押し付けられて、えへへ♪ 私に夢中になってくれて、すっごく、すっごく！ 嬉しさ全開ですう♪」

【みなと】

「さあ、先輩♪ 私も先輩を迎え入れる準備はできてますから♪ このままパンツをずらして、沢山愛してください♪」

【みなと】

「あ、あっ！ ひゃっ！？ はうううううううううううう！！」

【みなと】

「んはっ！ ああっ、はふう……うひゃああっ！ おちんちん来ましたあ♪ 今日初めてのおちんちん、最高すぎますよお♪」

【みなと】

「んひやああああっ！！ あっ！ ひやわっ！
あああっ、はふうっ！ んっ、ひあっ！
あっ、ああんっ！」

【みなと】

「は、ひゃんっ！ あ、あ、あっ！ んんっ、
はうんっ！ 気持ちいい、けどお！ お外だか
ら声我慢しないと……や、きゃんっ！」

【みなと】

「ん、ん、やっ！ ひゃっ！？ はっ、はっ……
ううう……しえ、しえんぱいっ……！ しゃん
ぱいしゃんぱうういっ……！ ん、んんっ……
……！」

【みなと】

「あ、やっ！ んひゃっ！ やあ！ こ、こ
れえ！ せ、先輩っ……そんな激しくパンパ
ンっ、ってえ！ こんなの、声、我慢できな……
……ひうう……！」

【みなと】

「あっ！ ひゃっ！？ ん、あ、あ、あ、あ、
ああっ！ やっ！ やらあっ！ 先輩いい！
ここ凄いいっ！ おまんこ凄いですよおっ……！」

【みなと】

「んっ、んんんうう……！ こ、こんなの、ダメ
エ！ おちんちん、んあっ！ おまんこの奥う
……！ 突かれてえ……！ んあっ！ やっ！
あうううっ！」

【みなと】

「ひ、人が来たらバレちゃいますって……はひゃっ!? あ、んあっ! はっ! やっ! やん!! 私と先輩があ! んあ、愛し合ってるどころ、見られちゃいますう!!」

【みなと】

「んああっ! あ、やっ! あ、あっ、んひゃああ!! あ、あんっ! 先輩も、お外でのせつくしゅ、興奮してくれてるんですね……!」

【みなと】

「え、えへへ……♪ 分かっちゃいますよお……ん、やん♪ もお何回先輩とセックスしてきたと思ってるんですか?」

【みなと】

「あ、んんっ! んやあ♪ あっ、あ、あ……♪ せ、先輩がどれだけ興奮しているのかわんて、んん♪ おちんちんの大きさを丸わかり、なんですからあ♪」

【みなと】

「そ、そうですよ? はあ、はあ、んっ! やっ! 私の、ん、おまんこはあ♪ んあっ♪ きゃっ♪ はあ、はあ……え、えへへ♪ 先輩のおちんちんにいっぱい虐められてえ♪ 先輩のおちんちんちゅきちゅきおまんこになっているんです、からあ♪」

【みなと】

「んっ、あっ、やつ！ はひい！ ふう、あ、あ
んっ♪ またあ、激しくなっただけ！ こ、こ
れ、これえ♪ おまんこ、ぴちゃぴちゃエツチ
なお汁出てえ……♪ あ、ああんっ！ らめえ
♪ しえんぱいの靴にかかっちゃいますう♪」

【みなと】

「しえ、しえんぱい……♪ あ、んああ♪
もっとお♪ もっとください！ あ、あ、あ、
ああっ！ こ、これえ！ おちんちん奥まで！
んあっ！ はっ！ ひやああっ……！」

【みなと】

「あ、んあっ、あ、ああっ……！ これ、ダメ！
ほんとにダメですっ！ クるっ！ きちや
うう！ 先輩より先に、私だけおまんこイッ
ちやいますうう……！」

【みなと】

「んやつ！ あ、あ、ひやああ！ あっ、やあ！
イク！ イキますっ！ イク……！ イクイク
イクイク……！ イッくううううううう
ううううううう……！」

【みなと】

「は、ひやわああああああ……！……？」

【みなと】

「んあああ……！ イっきゅうううう……！……？
お、おまんこお……♪ イグう……！ イッ
てましゅううう……！……！」

【みなと】

「はっ！？ は、はひゅっ！！ んあっ！
やっ！ あっ！ あああ……はひい、ん、
はっ、はあ、はあ……わふううう……ここ、お
外なのに……大きな声でイっちゃいましたあ……」

【みなと】

「しゅ、しゅみません、先輩……私ばかりいっ
てしまつて……んっ、わふうう……」

【みなと】

「あ、でも、安心してください。このまま終わりに
なつてしませんから♪」

【みなと】

「私のイったばかりのとりおまんこで、ん、
締め付けてえ……ん、きゅきゅ……えへへ
♪ 気持ちよくぴゅっぴゅさせてあげますね
♪」

【みなと】

「んにやっ！ あ、あ、ひやっ！ あっ、ん
ああ、ああんっ！ おちんちん、また来まし
たあ♪ ひやっ、やあん♪ さっきより激しく
なつてますよお♪」

【みなと】

「あっ、んあっ♪ こ、これえ♪ おまんこイっ
たばかりなのに、こんなに動かれたら私い、お
かしくなっちゃいますよお♪」

【みなと】

「はうんっ！ あっ！ ひやっ、ひやんっ！ お
ちんちん……先輩のおちんちいん！ んっ、
あっ、あっ、あんっ♪」

【みなと】

「さ、先っぽの力がおまんこに引つかかってえ……んやあ♪ あ、ああ♪ しゅごいれすう♪ んん……あんっ♪ これ、気持ちいいですよおお♪」

【みなと】

「ひやわっ！ あ、あっ、ああ♪ せ、先輩、分かりますか？ ん、はっ……私のお腹、おちんちんが入ってくるとポコって盛り上がってえ♪ せ、せんぱいいい♪ あ、はひやっ！ ん、ん……え、えへへ♪ 触ってみてくださいい♪」

【みなと】

「ん、あっ、んやああ……♪ え、えへへ……♪ 先輩の指くすぐったいですよお♪ あっ、ん、はあ、わふう♪」

【みなと】

「んあっ！ そこ、おへそ！ あっ、くっ！ んぷっ！ あうあううっ！ 先輩いっくお腹押し込んじゃダメですうー！」

【みなと】

「は、はうっ！ あ……ひ、ひっ……んあっ！ あ、んっ！ んんんんううっ！」

【みなと】

「お腹の中と、んんっ！ やあ……外から刺激されちゃっ……はうう！ おまんこの奥きゅんきゅんしちゃってえ！ せつくしゅうう♪ 大ちゆきになっひやいましゅよおお♪」

【みなと】

「うっ！ はっ、ふう……ん……っ、あっ、ひうっ！ あ♪ あう……ひいんっ！ おまんこじゅぽじゅぽちゅきい♪ お外せつくしゅ大ちゅきいいい♪」

【みなと】

「はっ、はぁ、んっ！ ふ、ふう、うっ……、んあっ、あ、あ、あっ！ ひっ、ひゃっ、あ、んあっ！ んんんっ！」

【みなと】

「ひゃわっ！ おちんちん、パンパン深くまで来てっ……おまんこの形、先輩に変えられちゃってえ……！」

【みなと】

「あ、ああん♪ せ、先輩……先輩先輩い……♪ んああっ♪ はっ、はっ！ ん、うにゅう……！ あ、やっ……お、おちんちん、もう限界ですか？ ん、わふう……ぴゅっぴゅしたいですか？」

【みなと】

「ん、んんっ！ で、でしたら、このまま出してください！ おまんこ味わいながら思いつきり膣中出ししてください！」

【みなと】

「せんぱ……っ、ひ、ひやううう！ あ、ああっ！ うみやああっ！ あ♪ あ、は、はあっ！ ひゃわあっ！ んひっ！ あ、ラ、ラストスパート、激しい……！ れすうう……！ んああっ！ お、おまんこ、気持ちいいですううう！」

【みなと】

「あ~~~~っ！ はっ、ひやわあっ！ んあっ！ お、おおっ、おまんこおお！ おまんこいいれすうう！！ んはっ！ ひやっ！ はにやああっ！」

【みなと】

「先輩！ 先輩い！ 先輩い！ イッて！ イッてえええ！！ んあっ！ あ、せ、先輩の精液、私のおまんこの奥にい！ いっぱいくださいい！」

【みなと】

「んやあっ！？ はぐっ！ う、うううー
——っ！！ う、ひひやああっ！！」

【みなと】

「んはっ！ う、ううう！ やあっ♪ わ、私もまたイキます、か、らあ！ おまんこ気持ちいいお潮吹いちゃいますからあ！！ だ、だからあ！ 一緒にイッてえ！ おちんぽ気持ちよくなつてええ！！」

【みなと】

「んやっ！ はっ！ ひやわっ！ ん、んん！ ひ、ひうう……ひやああっ あっ！ あっ！ あああっ！！ もっ、ら、らめっ！ き、きひやうっ……イク！ イっひやいましゅ！！」

【みなと】

「先輩も、一緒に！ うっうっ、う、ううううううーっ！！」

【みなと】

「イッちやいますうううううううううううー！！」

【みなと】

「んひやあああああゝゝゝゝんっ！
あうっ！ー う、あっ！ ひやううう……」

【みなと】

「ひやうっ……あっ、ああ！ んにやああ！ ど
くどく出て、私のおまんこ精液で満たされてえ
……は、はひっ……あ、あひゅっ……お、おお
……おまんこからお潮吹いてえ……♪ これ、
トロけひやいましゅううう♪」

【みなと】

「あ、だ、ダメ……！ これ、我慢できない……
…… やっ！ せ、先輩い！ み、見ないで……
…… やら！ ダメですっ……！ おまんこ出
ちやう……出ちやうううううううっ！」

【みなと】

「ひやああああああ……♪ おしっこお♪
おしっこ洩れちゃってましゅうう……先輩い……
……聞いちゃダメ……ダメですよお……」

【みなと】

「んあああ……♪ やっ、やあああ……♪ お
しっここの穴閉じなくて、止まらなくて……お外
でお漏らし……恥ずかしくてえ……ん、あああ
……はっ、はひい♪ ん、んん……♪
ひううう……♪」

【みなと】

「は、はふっ！ ひやううう……あ、はあ、はあ
……はあああああ……」

【みなと】

「うう……す、すみません……おしっこおちんち
んにかかっちゃいましたあ……」

【みなと】

「って、何だか嬉しそうにしていますね……もしかして私のおもらし見て喜んでるんですか？　ううう……先輩ったらすっかり変態さんになっちゃいましたね……」

【みなと】

「でも、私も先輩と付き合ってからどんどんエッチになっちゃいましたし、お互い様です♪」

【みなと】

「あ、足音……ってことはもう登校時間になっちゃってたんですね……」

【みなと】

「ひゃわわ……改めて考えると凄いことしちゃいました……」

【みなと】

「と、とりあえず！　早く着替えちゃいませう！　いつ誰がここに来るかわかりませんし！」

【みなと】

「……でも……もし次の機会があったら、また一緒にお外エッチ、しましょうね♪」

トラック04_わんこの知育教材

【みなと】

「先輩、ようこそ、私のお部屋へ♪」

【みなと】

「ささっ、こっちこっち。クッションの上に座ってください」

【みなと】

「すみません、休日になんか来てもらっちゃって」

【みなと】

「そろそろ学園の中間考査の時期ですし、補習で先輩とのラブラブタイムが削れるのはどうしても嫌だったので、また私のお勉強みてください。よろしくお願いします！」

【みなと】

「でも、お勉強を始める前に、まずは……えいっ！」

【みなと】

「えへへ、先に先輩成分を補給しとかないと、頭が働かないですからね。こうやって、いっぱいすりすりしちゃいます♪」

【みなと】

「ほら♪ すりすりすりすり♪ もっといっぱい、すりすりすりすり♪」

【みなと】

「わふう♪ えへへ♪ これで先輩成分の補給完了です！ 今の私ならどんな問題でも楽々解答できちゃいますよお！」

【みなと】

「それじゃあ先輩♪ 今日是一日よろしくお願いします♪」

【みなと】

「ぐへえゝゝゝ、しえゝんぱゝい……私もう駄目ですうゝ　これ以上は勉強できませんよゝ」

【みなと】

「ほとんど解き終わりましたが、残り数問を残して集中力が完全に切れちゃいましたあゝゝ」

【みなと】

「先輩……残りを私の代わりに解いてくれたり……は、ダメですよね……私のテスト勉強なのにそんなことしちゃったら意味ないですし……」

【みなと】

「でも何とかしてやる気を取り戻さないと……つて、そうだ！　先輩先輩♪　ここは私のやる気アップの為に協力してくれませんか？」

【みなと】

「はい！　これは先輩にしかできないことですし、もしやってくれたら私のやる気マックスになること間違いなしです！」

【みなと】

「先輩にやってほしいこと、それはですね……私が問題を解く度に「ご褒美がほしいんです！」

【みなと】

「ご褒美は先輩がしてくれることなら何でも構いません。なでなでだったりぎゅってしてくれたり、後はそのお……キス、とかしてくれたり……♪」

【みなと】

「わふうう、ちょっと欲張りすぎちゃいましたかね？　欲しがりなわんこですみません……」

【みなと】

「え、ご褒美もらっちゃっていいんですか！ えへへ♪ 優しい先輩大好き♪ すきすき♪ すっごくちゅきっ！ んっ、ちゅっ♪ ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「って、あ、すみません、フライングキスしちゃいましたね♪」

【みなと】

「でも、このキスでひとまず勉強を再開する元気をもらっちゃいました♪」

【みなと】

「よし！ それじゃあはりきって勉強頑張っちゃいますね！ 先輩からのご褒美の為に♪」

【みなと】

「うーん、ここはこうして……公式にさっき導いた値を代入して計算すれば……っで、出来ました先輩！」

【みなと】

「さあさあ、答え合わせしてみてください！ 今の私は一味も二味も違うんですから！ きっと正解しているはずですよ！」

【みなと】

「ど、どうですか？ 当たってますよね、ね？」

【みなと】

「や、やりました！ ちょっと難しい問題でしたけど正解できてよかったですよ！」

【みなと】

「これも先輩のご褒美効果ですね！ 我ながら天才的発案でした♪」

【みなと】

「それでは先輩♪ 約束のご褒美をください！
何をしてくれるのかとっても楽しみです♪」

【みなと】

「つて、わあ！ せ、先輩に抱き着かれちゃいま
したあ♪ えへへ♪ あったかいです♪」

【みなと】

「ん、あれ？ 先輩？ そんなに腕に力込めてど
うしちゃったんですか？ え、きやつ、きや
あっ！？」

【みなと】

「わ、わあ……これ、先輩の膝の上に乗った
ちゃってますよお……こんなの子供の頃におば
あちゃんにしてもらって以来かもしれない……
……ちよつと恥ずかしい……♪」

【みなと】

「でも、膝の上に抱きかかえられるのって、変わ
らず落ち着くというか、安心するというか……
えへへ、嬉しくなっちゃいますね♪」

【みなと】

「このまま先輩の上にいればどんどん勉強が捗っ
ちやいそうです！ さあ、最後の問題にいきま
しょう！」

【みなと】

「ええつと、ここはこうやって……うん……連
立して導き出せば……んっ、はい！ これで
どうでしょうか先輩！」

【みなと】

「今回は結構正解してる自信があります！ さあ
さあ、採点してみてください！」

【みなと】

「はい！ 正解ですね！ やりました♪ やりきってやりました♪ えへへ♪ 先輩！ いっぱい私のこと褒めてくださーい♪」

【みなと】

「わふわふふ♪ ふへへ♪ いい子いい子って撫でられるのちゅきい♪ もっとくっつきながらナデナデしてくれてもいいんですよ？」

【みなと】

「あん♪ 先輩またぎゅってしてくれて♪ くううん♪ 気持ち良くて変な声出ちゃいますよお♪」

【みなと】

「先輩♪ せんぱい♪ すきすき♪ えへへ♪ 大ちゅきい♪ ほくら、うりうり♪」

【みなと】

「問題を解く度にこんな素敵なお褒めが貰えるなんて、本当に最高です♪ この調子で勉強すれば学年一位も夢じゃないかもですね！」

【みなと】

「そうだ！ 今度から学園の授業も先輩のお膝の上で受けるようにしましょう！ それなら授業中に居眠りなんてしないですし、成績もうなぎ上りです！ さらに先輩とずっといられてー石三鳥ですう！」

【みなと】

「……って、あはは、冗談ですよ。おバカな私も流石に無理って分かってますから」

【みなと】

「ただですね？ 先輩はやっぱ先輩ですから、今後どう頑張っても一緒に授業を受けられないんだなあって思っちゃうと、ちよっと寂しくなっちゃって……えへへ、すみません。今でも幸せなのに、これ以上は欲張りすぎて罰が当たっちゃいますね……（少し自嘲するイメージで）」

【みなと】

「んん♪ あううう♪ 先輩くすぐったいですうう♪ はい、大丈夫ですよ。だって、もし先輩と同級生だったらこんな風に甘え倒したりできなかったと思いますから」

【みなと】

「年下だからこその特権って奴ですね♪」

【みなと】

「それに、卒業したら本当の意味でずうっと一緒になれますし♪」

【みなと】

「ん？ どういう意味か、ですか？ んもう、先輩だったら♪ 本当は分かってるく・せ・に♪」

【みなと】

「んうちゅ♪ しえんぱい……ちゅ♪ んっ、ちゅっ……ちゅっ、ちゅ♪」

【みなと】

「えへへ♪ 先輩とのちゅう……ちゅきい♪ 胸のドキドキが止まらないですよお♪」

【みなと】

「私、これからも先輩と離れる気なんて、これっぽっちもないですから！」

【みなと】

「まだまだ沢山デートして、野菜を育てておいしいもの食べて、いっぱいエッチもして♪ いつまでも先輩と一緒に蕩けるようなあま〜い日々を過ごすんです♪」

【みなと】

「はい！ 何があっても一生一緒です♪ 絶対です♪ 先輩がどこかにいっちゃっても匂いをたどって追いかけてちゃうんですからね？」

【みなと】

「あ、そんな事本当にできるのかって疑問に思ってますね？ 私を誰だと思ってるんですか？先輩だけのわんこちゃんですよ？ 先輩の事なら先輩以上に知ってる自信があります！」

【みなと】

「例えば、朝寝起きの先輩は少し首筋に汗をかいていてとっても艶っぽくてかっこよかったり、汗を舐めとると意外と甘じょっぱくておいしかったり♪」

【みなと】

「そ・れ・に♪ こうやって耳元で囁いてあげると、先輩のおちんちんがすっこく喜んでくれる事も知ってます♪」

【みなと】

「えへへ♪ 先輩、好き♪ すきすきすきすき♪ だ〜いちゆき♪ ちゅっ♪」

【みなと】

「きゃっ!?! わ、先輩ったら耳にキスしたただけですっごくビクビクしてしまいましたね…」

【みなと】

「えへへ♪ お耳で感じてる先輩可愛い♪ 可愛くて可愛くて……んん♪ もう我慢できなくなっちゃいますよお♪」

【みなと】

「はむっ、んちゅ……ちゅううう、れろお、んっ、れろお……ちゅっ、れろお……」

【みなと】

「んちゅっ、れろっ……ちゅ……ちゅくっ……れろっ、ちゅっ……先輩、もっといっぱいキスしましょう？ んちゅっ、ちゅっ……はあ……んちゅっ、れろっ……ちゅっ……」

【みなと】

「ちゅ……ちゅぱ……しえんぱい、ちゅきい……ちゅっ……ちゅぱ……ちゅう……じゅぷっ……れろっ……くちゅ……ちゅっ……ぷちゅ……」

【みなと】

「もっろ、舌絡めて……エッチにい……じゅちゅっ……ちゅぷ……んあっ……んんっ……あんっ……ちゅぱ……んあっ……れろれろろっ……ちゅぷっ、れろっ……ちゅっ、ちゅぷんっ……じゅりゅっ、ちゅっ……」

【みなと】

「んんっ、ちゅぷっ、れろっ、ちゅぱっ……んちゅっ、れろれろっ……！ んあむっ……ふっ、ちゅくっ、れろ、ちゅる……！ちゅっ、じゅ……！ んじゅ、ふっ……！」

【みなと】

「はぷ、ん、ちゅぱっ！ はあ、はあ……えへへ、少し大胆すぎましたかね」

【みなと】

「でも、もっとももっと先輩の事欲しくなっちゃ
いました♪ ねえ、先輩？ ご褒美、もっと欲
張ってもいいですか？」

【みなと】

「今日は両親も妹も夜遅くまで帰ってきません
から」

【みなと】

「だから、ね？」

【みなと】

「夜まで私のこと、いっぱい愛してください♪」

トラック05_わんこと飴とエッチ

【みなと】

「先輩……はぷっ、ちゅっ……んっ、ちゅっ、んちゅ……ちゅうう、んちゅるっ……」

【みなと】

「んじゅっ、ちゅう、ちゅっ……じゅるるっ……ぷあぁっ、はぁ、んっ……」

【みなと】

「んじゅっ、ちゅっ、ちゅっ……好き……しゅきい……じゅるる……はぁんむっ、ちゅう、んちゅう……っ……じゅっ、ちゅっ……」

【みなと】

「ぷはぁっ……えへへ、すっかりおちんちん大きくなりましたね」

【みなと】

「今日は沢山勉強を教えてもらいましたから、お礼にいっぱいご奉仕エッチしてあげます♪」

【みなと】

「ささ♪ 私の膝上で寝転がってください♪」

【みなと】

「ん♪ 膝枕で気持ちよさそうにする先輩、可愛いですう♪」

【みなと】

「このままわんこのお耳ぺろぺろ、堪能してください♪」

【みなと】

「んっ、くちゅっ……ちゅっ♪ ちゅぷっ……ちゅ♪ ちゅっ……ん……ちゅっ……♪ れろっ……れろれろっ……れろれろれろっ……んちゅっ……ちゅぱっ……んっ……れろっ……くちゅ……」

【みなと】

「れろっ……れろれろれろっ……んっ……しえんぱい……んっ……じゅるっ……ちゅ……れろれろ……」

【みなと】

「んっ……ちゅっ……ちゅぱっ……ふうう……好き……ちゅっ……んっ、大ちゅきい……んちゅっ……れろおっ……れろれろ……れろ……ちゅっ、ちゅるっ、れろれろれろ……」

【みなと】

「ぶはあっ……えへへ♪先輩のお耳、奥までいっぱいペロペロしちゃいました♪」

【みなと】

「どうですか？ 気持ちいいですか？」

【みなと】

「男の人は彼女にいろんな所を舐められるのが好きってネットでみかけたので、先輩にもしてあげたいなって思ってたんです♪」

【みなと】

「次はもっと激しくペロペロしますから、いゝっぱい♪ 気持ちよくなってくださいね♪」

【みなと】

「すう—————（深呼吸）」

【みなと】

「んぶっ！ じゅぶぶぶっ……！ ぴちゅ、くちゅ……！ んんっ、はあ、んっ……はあ……れろれろ……くちゅ……ぐちゅ、ぴちゅ……ふああ……じゅるっ……れろれろ……！ れろれろれろれろっ……！」

【みなと】

「れろっ、んちゅ、れろっ、ちゅぶっ……れ
ろっ、んちゅっ、れろっ……んん……ちろっ、
れろっ……ちゅく、ん、ちゅぶっ……れろ、ペ
ろお……れろ……」

【みなと】

「れろれろ……んんっ……れろれろ……ちゅむっ
……くちゅ……んん……ちゅきい……ちゅぶっ
くちゅ……んっ……ちゅぶっ……くちゅ……れ
ろれろ……ちゅぶっ……くちゅ……」

【みなと】

「ぴちゅくちゅ……んん……しえんぱい……
♪ しゅきい♪ んん、ちゅ♪ ちゅきちゅ
きいいい♪ ちゅぶっ！ れろ！ れろれろお
……♪ んんちゅ♪ じゅぶぶっ……！ ピ
ちゅくちゅ……ふふっ、れろれろ……！ ピ
ちゅ……！ れろっ……じゅりゅっ……」

【みなと】

「じゅぶっ……！ じゅるじゅる……！ れろれ
ろ……！ ぐちよ、じゅぶっ……！ ぴちゅ……
……！ れろれろ……！ ぴちゅ……！ じゅ
りゅっ……ちゅぱっ♪」

【みなと】

「しえんぱい♪ もっろ舌らひて♪ んん
♪ れるるるるれろれろれろ♪ んじゅ♪
ぢゅぶっ！ れろれろれろ……ちゅ♪ んん
くちゅっ♪ じゅぶぶっ……♪ ん、ちゅ♪
はぶっ！ ん♪ れろれろ♪ ちゅ♪ じゅぶ
ぶっ！ んちゅ♪」

【みなと】

「んっ！ れろっ、ちゅぶっ、ちゅううっ、れろ
れろっ、れろれろれろれろ……ちゅうううう
ううううううう……ん……………んぐぷ
はっ！ はあ、はあ……………はあ……………」

【みなと】

「わふう…………♪ 先輩ったらお顔蕩けちゃってえ
♪ えへへ♪ とっても可愛らしいですう♪」

【みなと】

「もっともっと先輩のお耳舐めて、愛してあげた
いですから…………ん♪ 次は反対のお耳をれろれ
ろしてあげちゃいますね♪」

【みなと】

「れろっ、んちゅ、れろっ、ちゅぶっ…………れ
ろっ、んちゅっ、れろっ…………ん…………ちろっ、
れろっ…………ちゅく、ん、ちゅぶっ…………れろ、ペ
ろお…………れろ…………」

【みなと】

「れろれろ…………んっ♪ せんぱい♪ ちゅ♪
お耳、甘くてえ♪ んぐちゅ♪ はぶっ♪
れろれろ…………ちゅむっ…………くちゅ…………ん……
ちゅきい…………ちゅぶくちゅ…………ん…………ちゅ
ぶっ…………くちゅ…………れろれろ…………ちゅぶっ……
くちゅ…………」

【みなと】

「ん…………くちゅちゅむっ…………ん…………ふぶっ……
…………もっろ…………お耳のおふまれ…………舌をいれて……
…………んじゅるっ♪ じゅぶぶっ！ ぢゅっ♪
ちゅぶっ！ ん、んん！！ ぢゅっ！ ちゅ
ぶっ！ れろれろっ…………♪ ちゅ♪」

【みなと】

「んぶっ、ぢゅっ！　じゅるじゅるじゅるっ！
んちゅ♪　ぴちゅ、くちゅ……！　んんっ！
はあ……ちゅっ……れろっ……れろれろれろ
れろっ……んっ……」

【みなと】

「びちゅっ……じゅるっ、じゅるじゅるっ……ぐ
ちゅ、ぴちゅ……！　もっろ……じゅるっ……
……れろれろ……れろれろれろれろっ」

【みなと】

「ちゅっ……れろれろれろっ……はあああむ……
じゅりゅじゅりゅっ、ちゅうううっ……んっ……
…」

【みなと】

「ぶはっ……はあ、はあ……ん、ちゅっ♪　ちゅ
♪」

【みなと】

「えへへっ♪　ついでに、お耳の中も綺麗にし
ちゃいました♪」

【みなと】

「でも、私、お耳だけじゃなくてもっというんな
ところペロペロしてあげたいです……」

【みなと】

「だ・か・ら♪　先輩の大切なところ……おちん
ちんも、お口でご奉仕してあげますね♪」

【みなと】

「わふっ……おちんちん凄いですっ♪　ズボン
の中ぱんぱんで……」

【みなと】

「えへへっ♪　すぐ楽にしてあげますからね……
ん、しょっ……と」

【みなと】

「わぁ♪ おちんちん、ピシーーってのびて……
すんっ、すんすんっ……わふうう♪ エッチな
匂いしゅごいれすう……♪ こんなの嗅いだら
……すんすん♪ わふううううううう♪ 私も
興奮しちゃいますよお♪」

【みなと】

「んっ、はぁ、はぁ、はぁ……んっ、ごくっ……
ふう、わふうう……っあ、す、すみません！
つい先輩のおちんちに夢中になってしまつて
……少しぼーっとしちゃいました」

【みなと】

「お待たせしちゃ可哀そうですから、このままお
ロペロペロしてあげます♪ ああ……むっ……
……んっ、ちゅっ、れろおっ……ぴちゃっ、れ
ろっ」

【みなと】

「ぺろっ、じゅぶ、ちゅっ、くちゅぴちゅ……
ちゅぶっ、んんっ！ れろ、れろれろっ……ん
ん……どうれすか、しえんふあい？ ひもちい
いれすか？」

【みなと】

「ん、じゅっ！ じゅぶっ！ んちゅ♪ れろれ
ろ……んん♪ せんふあいの勃起おひんひん、
クセのある味わいれ……わらひ、大ひゆきれ
すう♪」

【みなと】

「んじゅ！　じゅぷぷっ……れろっ、れろれ
ろっ！　ちゅぷうっ！　んっ、ちゅっ、れ
ろっ、れろれろれろっ……ちゅううう、
ちゅぷっ♪」

【みなと】

「んっ、ぷはあっ！　あんっ、おひんひん暴れて
……れろれろっ！　ちゅぷっ、ん、れろおっ」

【みなと】

「はぶっ！　じゅぶ、じゅりゅ……！　ちゅぶ
ぶっ、ちゅば、ちゅぶ、ちゅくっ……！　ちゅ
ぷぷっ、ちゅば、んちゅ……！　ぴちゅ、く
ちゅ……！　んん……！　んぷっ……！」

【みなと】

「くちゅぴちゅ……！　んちゅ、じゅぶ、じゅぶ
ぶぶ……！　んちゅ、れろっ、ちゅく……！
ちゅばっ、んちゅ……」

【みなと】

「喉の奥に、んん！　ちゅぷっ、じゅぶぶっ…
…！　おひんひんとろいてえ♪　じゅっ！
ちゅ♪　ちゅぷっ、ちゅば、んちゅっ……！
先輩にお口犯されひやってましゅうう……♪」

【みなと】

「んちゅ♪　ちゅ、ちゅぷ！　ちゅばっ、ん
ちゅ、じゅぶ……！　ちゅぷっ、ちゅくんっ…
…！　んぷっ！　ん、あっ！　やあ♪　おまん
ほ、んちゅ！　エッチなお汁漏れひやってま
しゅよおお♪」

【みなと】

「んっ！ ん、ん、んっ！ あむっ、じゅぶぶっ！ ぢゅぶっ！ んっ！ ん、ん、ん、んじゅっ、じゅるるっ！ ちゅぶっ！ じゅぶぶっ！」

【みなと】

「んっ！ ちゅぶっ！ じゅりゅっ！ んん♪ しえんぱい♪ んちゅ♪ しゅきい♪ おひんひんちゅきい♪ れるっ！ じゅぶっ！ れるるっ、んちゅっ、ちゅっ……ちゅばっ……じゅううっ、じゅるるっ、じゅるるるるうううう……んぶっ！」

【みなと】

「おひんひん、ビクビク震えてまふね……もう出ひやいますか？ いいでふよ♪ このままおふちまんこに出ひひやってください♪ れんぶ「くごく飲んであげまひゅ♪」

【みなと】

「んぶっ！ んっ！ ん、んじゅっ！ ぴちゅ！ ぢゅ、じゅぶ、じゅぶぶぶ……！ んちゅ、れろっ、ちゅく……！ ちゅぱっ、んちゅ……」

【みなと】

「ちゅっ！ んん！ じゅるっじゅぶっ！ ちゅぱっ！ しえんぱい、らして、精液らしてくらしやい……！」

【みなと】

「んじゅっ！　じゅぶ、ちゅっ！　れるれる……
ちゅっ、じゅるじゅるじゅるっ、ちゅっ、
ちゅううう、ちゅうううううううううううううう
ううう！！」

【みなと】

「んんん！！？　んぶうう！！　はぶっ！！
んっ、じゅぶぶうううっ！　じゅっ！　れる
れる……ちゅ♪　じゅぶぶっ！　んぶぶうう♪
んじゅっ、じゅりゅ……んちゅっ、んっ、ご
くっ、ごくっ、ごくっ……」

【みなと】

「ん、ん、ん！　んちゅっ！　れるっ、れ
ろれろれる……ちゅっ……ちゅるっ……ぶ
はあっ、はあ、はあ……」

【みなと】

「はふう……♪　しえんぱいの精液ねばねばし
て、美味しいですう……匂いも……すうううう
ううううううはああうう……♪」

【みなと】

「全身に先輩の匂いがいきわたってえ……♪　え
へへ、先輩の色に染められてるみたいで幸せ
♪」

【みなと】

「って、あ♪　おちんちん、まだ大きいまま……
♪　やっぱりおまんこでぴゅっぴゅしないと収
まりそうにありませんね♪」

【みなと】

「それでは、今日は私がお尻を先輩の方に向けま
すから、後ろから私のおまんこ好きにしてくだ
さい♪」

【みなと】

「俗に言うバックって奴ですね♪ わんちゃんの交尾みたいで興奮しちゃいます♪」

【みなと】

「はううう……こうやって改めておまんこを見せるのって、何だか照れちゃいますね♪」

【みなと】

「今の私は、すっかり発情しちゃって、おまんこもエッチの準備出来てますから……」

【みなと】

「さあ、先輩♪ このままおちんちん入れてください♪ いっぱいおまんこエッチしましょ♪」

【みなと】

「んあっ、あっ、しえんぱいが来て……あっ、ひゃっ！ んああっ！ ひゃああああああんっ！！」

【みなと】

「あ、ああ、ひゃっ、やっ！ あっ、あうう……おちんちん、一気に奥まで届いて……はっ！ はひっ！？」

【みなと】

「んっ、ああっ！ あう、はひいんっ……ああんっ、せ、先輩！ おちんちん、いきなりッ！ 激しッ！ あ、やんっ！！」

【みなと】

「んっ！ あっ、あんっ！ ん、ん、ん、んあっ！ はうっ！ んひゃっ！ うっ、うううう……あ、あうう！」

【みなと】

「やあ！ あっ、あっ、あっ、ああっ！！ 好き！ すきすきい！ 先輩のおちんちん大好きい！ おまんこ気持ちよくしてくれるの好きいい！」

【みなと】

「んあっ！ わ、わふう♪ 先輩ったら、おちんちん膣中でまた大きく、んん♪ してえ♪ んあっ♪ あ、あ、ああ♪ こんなのおまんこダメになっちゃいますよお♪」

【みなと】

「って、んっ！ んん！ ひやっ！ う、ううう……！ はひあああっ、あ、ああっ！ んんっ！ あああんっ……あっああっ……おちんちん、しゅごいい……！」

【みなと】

「もっと、もっと先輩の好きなように……ひやっ！ あっ、やっ！ はうう♪ ん、んああっ！ あ、あ、あ、ああっ！ んんっ！ んああっ！ あ、あ、あ、あああ！！！」

【みなと】

「ダ、ダメでしゅ！ こんな、後ろからのせつくしゅっ！ わんちゃんの交尾せつくしゅうう！ あっ！ やあっ！ 気持ちよすぎて、はあ、はあ……んあっ♪ 興奮止まんないですよお♪」

【みなと】

「ひやわあああつ！ んっ、ああ！ おちんちんもつとくさいい！ いっぱい私のおまんこパンパンツていじめてくさいい！！ んあつ！ あ、あああつ！」

【みなと】

「んあああつ、ああんっ！ はあ、ああつ！ んっ、ひうつ、はふううつ、んひやつ！ あううつ！ やっ、やあんっ！！」

【みなと】

「あ、あ、あつ、ああっ！！ ダメ、ダメエ！！ お汁！ んあっ♪ おまんこ吹いちやつてっ！！ 出てますう！ あ、あ、うう……エッチなお汁出ちゃってましゅよおお！！」

【みなと】

「やあ！ あ、あ、ああっ！ せ、先輩い！ しえんぱいい！！ おまんこ壊れひやつてもいいからあ！ いっぱいい！ いっぱいおまんこしてえ！ しえんぱいのおちんちんで気持ちよくしてえ！！」

【みなと】

「あつ！ あつ！ あつ！ あああ！！ はひゅっ！ あつ！ うううう……んやつ！ は、はひゅっ！ わふっ！ あ、あ、あつ！ ああああつ！ やっ！ やあああああつ……」

【みなと】

「ひやうう！ やっ！ やらっ！ イグっ！ おまんこお！ やっ！ ひうう！ ん、はああつ、ああああつ……！！」

【みなと】

「あっ、はひいいいっ！ あっ、んはああ！
やあっ、だめっ、おまんこだめえええ！ 私、
イツちやいます！ このまま先輩のおちんちん
で、おまんこイキますう！」

【みなと】

「あ、あ、あ、ああっ！ も、もう！ んあっ！
イ、イクツ！ イっひやうっ！ イっひやい
ましゅううッ！ せ、先輩いい！ はふっ！
あっ、やあっ！ あ、あ、あ、あっ、
ああっ、んあっ！ あああっ！！ やあ
あああっ！！ イツきゅうううううう
うううううううううう！！！！！！」

【みなと】

「ひやあああああああっ！！ あ、あ、あ
あああっ！ やああっ！！ おちんぽイツてま
しゅうううっ！ これえ！ しえんぱいのミル
ク来てましゅ……！ みりゆくお腹の奥まで届
いてええ♪ んひやああああ♪ んああ♪
あ、あ、わふうう♪ 精液どぴゅどぴゅってえ
♪ おまんこお♪ 注がれちゃってまひゅうう
♪」

【みなと】

「んあああ♪ 先輩いい♪ やあ♪ またイグう
♪ んあああ♪ おまんこお♪ は、やつ♪ あ
んん♪ イ、イってえ……♪ んあっ♪ お、
おまんこお……ひゃ！ あ、あっ、ああ、ん
ん、はひっ……はひゅう……ら、らめれしゅう
……♪ こりえ、気持ちよしゆぎてえ♪ ん、
あ、ああ……♪ 腰い♪ ぬけひやいまふよお
……♪」

【みなと】

「お腹の奥、あひゆく……先輩のみりゆくで満
たされて……♪ 交尾せつくしゅう……♪ 気
持ちよしゆぎまひゅう……んっ、あ、あ……
♪ んあ♪ わふう……♪」

【みなと】

「はあ、はあ、はあ、ん、はあ……♪ あ♪
おまんこ、先輩の精液と私の愛液が混ざって、
わふう♪ エッチしゆぎましゅよお♪」

【みなと】

「こんにやに激しいせつくしゅ、初めてかもし
りえましえん……って、あ、あううう……
ひゃんっ！ まだ小さいのがきて……おまんこ
ぱくぱくイッてましゅ……」

【みなと】

「はあ、はあ……はひゅうう……♪ むにゅ……
♪ わふうう♪ はにゃ……♪ はあ、
はあ、はあ……あううう♪」

【みなと】

「ん、んっ！ んっ、ふう〜……えへへ♪
やっとな落ち着いてきましたあ♪ 先輩、今日
は一日ありがとうございますう♪」

【みなと】

「おまんこに入りきらないくらい精液出して、愛
してくれて……はううう♪ んもう♪ 先輩っ
たら相変わらずエッチで厭らしいんですからあ
♪ でもそんな先輩が大好きです♪ ちゆきい
〜♪ ちゆきちゆきい〜♪」

【みなと】

「しゆきい♪ せんぱ〜い♪ 大しゆきれ
しゅうう♪ ん〜ちゆ♪ ちゅっ♪ ちゆ♪
えへへ〜♪」

【みなと】

「また今度、今日のセックスに負けないくらい、
いっぱい〜っぱい、愛し合いましうね♪
先輩♪」

トラック06_わんこの里帰り

【みなと】

「えへへ♪ 先輩とまた一緒におばあちゃんの
家に行けるなんて感激です♪」

【みなと】

「今思うとこの前行ったのって夏ですからね♪」

【みなと】

「おばあちゃんの田んぼに植えた稲もきつと綺麗
に実ってるでしょうから、今から2人で収穫す
るのが楽しみです♪」

【みなと】

「一緒に頑張りましたよね、先輩♪」

【みなと】

「って、ちょっと子供っぽくはしやぎすぎちゃい
ましたかね？」

【みなと】

「でも、私は先輩と一緒にならいつでもどこでもは
しゃいじゃう単純な彼女ですから♪」

【みなと】

「先輩も私を喜ばせるために、可能な限り傍にい
てくださいね？」

【みなと】

「じゃないと、拗ねてすりすりしなくなっちゃう
かもしれないんですから」

【みなと】

「んんうちよつと想像しちやいましたけど、冷静
に考えて私が先輩に拗ねちゃうなんてありえな
いですね」

【みなと】

「今だって先輩になでなでして欲しくて堪らない
んですから……って、わふっ！」

【みなと】

「きゃっ、もう……急に撫でられるとビックリするじゃないですかあ」

【みなと】

「でも、えへへ♪ ありがとうございます。やっぱり先輩のなでなで、優しくて気持ちよくてちゅきい♪」

【みなと】

「いつ撫でてくれても構いませんから、これからもいっぱい私のこと、甘やかしてくださいね♪」

【みなと】

「って、ああっ！ もうすぐおばあちゃん家の駅に着いちゃいますよ！」

【みなと】

「ささっ！ 早く準備していきましょう！」

トラック07_わんこと稲刈り

【みなと】

「せんぱうい！ こっちの稲は刈り終わりましたよー！ 先輩の方はどんな感じですかー？」

【みなと】

「わあ！ 先輩凄いいじゃないですか！ 初めての稲刈りでもうこんなに収穫が終わってるなんて！」

【みなと】

「並みの男性なら先輩の半分も刈りとれずにギブアップしてるところですよ？」

【みなと】

「やっぱり、畑の肥料を運んだり耕したりして足腰が鍛えられたんでしょうね」

【みなと】

「今の先輩ならいつでも農家の大黒柱として自立できます！ 農家の娘である私が保証しちゃいます！」

【みなと】

「あ、刈り終わった稲は方向を揃えてまとめてください。収穫後に色々処理をなくちゃいけませんから」

【みなと】

「って、ああー♪ その顔、収穫したお米がどうなるか気になってますね？ えへへ、じゃあ将来のためにも私が教えてあげます♪」

【みなと】

「えーっと、まずは稲からもみを分離するために脱穀して乾燥させなくちゃいけませんね」

【みなと】

「乾燥し終わったら、もみ殻を機械で取り除いて玄米にして精米器で精米して、やっと私たちが普段食べるお米になるんです」

【みなと】

「そうですよ、米粒二つ作るのにも非常に手間暇かかってるんですから」

【みなと】

「米粒を残しちゃダメっていうのは、こういった苦勞をしてお米を作ってくれた農家の皆さんに対するせめてもの礼儀なんですから」

【みなと】

「先輩も、これからはきちんと残さず食べてくださいね？」

【みなと】

「なんて、先輩は普段からどんな食べ物も残さず食べてましたから心配はいりませんね」

【みなと】

「食べ物を決して粗末にしない先輩、大ちゆきいゝ♪」

【みなと】

「そうだ！ 今すぐは無理ですけど、収穫した稲を精米し終わったら、先輩の寮に送ってもらうようお願いしておきましょう！」

【みなと】

「とれたてほやほやの新米と一緒に食べるんです！」

【みなと】

「出来立ての新米はおいしいですよ♪ そのまま炊いてももちろん美味しいんですが、野外で飯盒炊飯するのもオススメです！」

【みなと】

「畑でとった野菜をバーベキューで焼いて、炊き立てご飯と一緒に頬張る！」

【みなと】

「ぐへへ♪ 想像しただけでよだれが出ちゃいますね♪」

【みなと】

「さらに！ 秋の味覚としてやっぱり外せないお米料理といえば炊き込みご飯です！」

【みなと】

「定番の栗やきのこ！ そして秋鮭を贅沢に使った鮭の丸ごと炊き込みご飯！」

【みなと】

「どこまでも夢が膨らんじゃいますよ♪」

【みなと】

「先輩はいつも節約してて食事が質素になりがちですから、これからは私がおいしいもの沢山作って食べさせてあげます！」

【みなと】

「子供の頃からおばあちゃんに花嫁修業でお料理を教えてもらってましたし、将来は先輩の、その……お、お嫁さんとして……毎日お味噌汁を作ってあげたりしたいな……なんちゃって……えへへ♪」

【みなと】

「って、わふっ！？」

【みなと】

「あっ、せ、先輩？ 急にどうしたんですか？ もしかしてご飯の話でお腹空いて、私を食べたくなっちゃった……なんて……♪」

【みなと】

「え？ 本当に？ わふう……冗談だったのに、そんなこと言われたら……えへへ♪ 嬉しすぎて顔真っ赤になっちゃいますう♪」

【みなと】

「私も、私の全部……足の爪先から髪の毛の一本まで、全部ぜ〜んぶ！ 先輩にもらって欲しいです……♪」

【みなと】

「先輩……ちゅき……んっ、ちゅっ♪」

【みなと】

「今はまだ学園生ですけど、先輩も私も卒業して、一緒に農家として自立できた時には、私、待ってますから」

【みなと】

「だからその時が来るまで、決して離さないでくださいね……んっ、ちゅっ……ちゅ……ちゅう、ちゅるっ……」

【みなと】

「んっ、ぷはっ……はあ、はふう……えへへ、こんな話をしちゃうと、どうしても感情が昂っちゃいますね。すっかりエッチな気分になっちゃいました♪」

【みなと】

「でも、日中はおばあちゃんのお手伝いとか色々しなきゃいけないことがありますから……その、先輩？ 夜おばあちゃんが寝静まったら、私の部屋にきてくれませんか？」

【みなと】

「そこでとおきのプレゼントをあげたいんです……先輩にしかあげない、先輩だけのとおきのおきのプレゼント……楽しみにしてくださいね？」

トラック08_わんこの忠義と贈り物

【みなと】「あつ、せ、先輩……約束通り来てくれたんですね」

【みなと】「ちよ、ちよっと待っててください！ 少し心の準備をしたいので……すううう……はああ……すうう……はああ……」

【みなと】「はい！ 大丈夫です！ どうぞ部屋の中に入ってきてください」

【みなと】「えへへ♪ 先輩、ようこそおいでくださいました♪」

【みなと】「私の恰好を見て驚いちゃいましたか？ 裸にリボンを巻いただけの姿、いわゆる裸リボンって奴です♪」

【みなと】「お昼にとっておきのプレゼントがあるって言いましたよね？ 覚えてますか？」

【みなと】「わふう、流石に私の言いたい事わかったやいますよね……」

【みなと】「はい、そうです……プレゼントっていうのは……わ・た・し・です♪」

【みなと】「先輩の為に用意した先輩だけのプレゼントですよ？ 喜んでくれましたか？」

【みなと】

「あうう♪ えへへ♪ 先輩♪ 喜んでくれて嬉しい♪ もっとぎゅってして、裸リボンの私を堪能してください♪」

【みなと】

「んっ、んん……♪ はふうう♪ あったかい♪ 先輩の胸の中、気持ちいいですう♪」

【みなと】

「私は先輩に全てを捧げてるつもりですけど、きちんと目に見える形で伝えたくて……何かいい方法を探してたらこの裸リボンが見つかりまして……」

【みなと】

「先輩はエッチで変態さんですから、きっと気に入ってくれるかなって、家族に隠れて裸になりながら結ぶ練習をしてました……♪」

【みなと】

「一人でリボンを巻き付けるのは苦労しましたけど……えへへ♪ 気に入ってくれたみたいで良かった♪」

【みなと】

「って、きゃ♪ せ、先輩？ おちんちん当たってますよ？ んもう、エッチなんですから♪」

【みなと】

「いいですよ♪ 私は先輩だけのものですから♪ 先輩のしたいこと何でもしてください♪」

【みなと】

「お口も、お手手も、おっぱいも♪ 太ももも、足も、おまんこも♪ さらにはお尻の穴だって♪ ぜくンぶ！ 好きに使ってくれていいですから♪」

【みなと】「だ・か・ら♪ 先輩の気が済むまで私の体、可愛がってくださいね♪」

【みなと】「きゃんっ♪ 先輩ったら、そんな急に押し倒すなんて、興奮しすぎ……って、んぷっ！」

【みなと】「んっ……ちゅっ、ちゅっ、れろおっ……ぴちやつ、れろっ、んじゅっ、ちゅう、ちゅっ……じゅるるっ……ぷああっ、はぷっ……」

【みなと】「ちゅぷっ、ちゅっ、ちゅっ……しえんふあい、い、いきなりきしゅ……んん♪ ちゅ♪ ちゅ♪ ちゅきい……♪ じゅるる……はあんむっ、ちゅう、んちゅう……じゅっ、ちゅっ……」

【みなと】「ちゅっ……れちゅ……んっ、んちゅ……んっ、んっ……ぷはっ……」

【みなと】「ひやうう♪ 情熱的なきしゅ……♪ 大しゅきですう♪」

【みなと】「もっと……もっとキスしましょう？ お互い溶け合っちゃうくらい、思いつきり抱きしめあいながらのキス……」

【みなと】「んむう！ んっ……ちゅぷっ！ ちゅ♪ れる……ぢゅる♪ ん、ちゅっ♪ ちゅるちゅっ……んちゅっ、れちゅっ、れろれろ……」

【みなと】

「はぶちゅっ……じゅるちゅるちゅっ……ちゅっ
……舌あ♪ らしてくらしやいい♪ んちゅ
♪ れるるる♪ ……じゅぶっ！ じゅりゅっ
……じゅるじゅるじゅりゅ、ちゅううううう
……」

【みなと】

「もっろ……もっろお……♪ はあむっ……く
ちゅちゅむっ……んんっ……じゅぶっ！ れろ
れるれるる……ちゅぶ♪ ちゅ♪ くちゅ……
んふっ……れるるる……！ くちゅちゅぶっ…
…んふっ……ちゅぶっ……れるるる……ちゅ
ぶっ！」

【みなと】

「しえんぱいの舌あ♪ おいひい♪ もっろ舌絡
めて、唾液のましえてくらしやい♪ れるる…
…れりゅっ！ れるるる……んんっ……れるれ
ろ……ちゅむっ……じゅりゅりゅ♪ ちゅ
ぶっ！ れりゅ、んちゅ♪ ちゅ……ん…
…ちゅぶつくちゅ……！ ちゅっ……れるっ、
れるれる、ちゅっ……んんっ……！」

【みなと】

「んっ！ れるるるるる……じゅるるる
るるる……ん、んん！ ごくっ、ごくっ、ご
くっ、ごくっ……ぶはあっ！ はあ、はあ、
はあ……♪」

【みなと】

「先輩の唾液とっても甘くておいしくて♪は
ううう♪ もっともろと飲みたいですよ♪
先輩♪ れーってしてください……はい♪
れ〜♪」

【みなと】

「ん〜ちゅ！ ちゅぷっ、じゅぶぶっ……！ れ
ろれろれろれろ……んじゅっ！ ちゅぷっ、
ちゅぱ、んちゅっ……！ ちゅっちゅ……！
ちゅぱっ、んちゅ、じゅぶ……！ ちゅぷっ、
ちゅくんっ……！」

【みなと】

「はむっ！ んっ、」くっ……んちゃっ……いっ
ふあいくだひyai……はぶっ！ じゅるっ、
ちゅぶぷっ、ちゅぶっ、ちゅぱっ！ ん
ちゅっ、くちゅぴちゅ……れろっ、んんっ、れ
ろれろ……」

【みなと】

「ん……ちゅっ……！ れろっ、ちゅぶっ……
……！ れろれろっ、んちゅっ……！ ちゅ
ぷっ、ちゅっ……！ ちゅぶっ、くちゅ……！
れろれろ、ちゅくん……！ んちゅぶっ……
……！ じゅぶっ……ぷはっ」

【みなと】

「はああ……ん……えへ〜♪ 先輩、ご馳走様
でした♪」

【みなと】

「って、今日は私がプレゼントなのに、私だけ楽
しんでちゃダメですよね」

【みなと】

「先輩もおちんちん限界でしょうし、このまま私のおまんこに入れて、思いつ切り楽しんでください♪」

【みなと】

「あ、前戯とかは大丈夫ですよ？ 今のエッチなキスでおまんこトロトロになってますから♪」

【みなと】

「ん、しょ……とぅ……わふうぅ♪ ほら、先輩？ おまんこ♪ 触ってみてください♪」

【みなと】

「きゃっ！ ひゃん♪ え、えへへ♪ 分かりますか？ 私のぴっちりおまんこからエッチなお汁が、リボンを伝って太ももまで垂れちゃって……まるで餌を欲しがるわんちゃんみたいに、おちんちん早く欲しいよおぅ、っておねだりしちゃってるんです♪」

【みなと】

「だから先輩、遠慮なんかしないで、私のおまんこ沢山愛してください♪」

【みなと】

「あっ、これ……おちんちん……入って……あ、やっ！ あっ、ああっ！ んんっ！？ ひゃあああああああんっ♪」

【みなと】

「ああああ、はっ！ はっ！ はっ！ はううう♪ き、来ましたぁ……♪ 先輩のおつきくて太いおちんちんが、お腹の奥う♪ 子宮まで届いてますよお♪」

【みなと】

「んあ！ あ、ああっ……♪ 先輩、ダメ、ですよお♪ これ、今、おまんこに入れられただけで軽くイっちゃって……おまんこ震えて……♪ ひゃっ！ はひっ……あっ……やつ、はっ……わふう！」

【みなと】

「ん、あ、あ……♪ せ、先輩？ え、えへへ……♪ 大丈夫ですよ？ ちよっと気持ちよすぎただけですから……♪」

【みなと】

「このままいっぱい動いてください……わたしがどれだけ乱れても、ん、あん♪ 腰を止めたりしないでいいです♪ んん♪ だって、今日の私は先輩だけのプレゼントなんですから♪」

【みなと】

「今日は先輩のおちんちん……いえ、おちんぽで♪ 数えきれないくらい膣中出しして、私のおまんこ、は・ら・ま・せ・て♪」

【みなと】

「んっ！ あああっ！ あっ、あ、あ、ああっ！ ひゃんっ！ あっ、やあっ！ お、おちんぽお♪ い、いいですう！ 先輩い！ 先輩先輩いいい♪」

【みなと】

「はあ、はあ……♪ んん♪ しえんぱいの腰、しゅーいいれすよお♪ おまんこ、奥っ！ ぶつかってえ！ んんっ！ あっ！ あ、あ、あああ♪ ひゃっ！ やんっ！ こ、これ、凄すぎますう！」

【みなと】

「んあっ！ はあ、んあっ！ あっ、あっ、ああっ！！ き、気持ちいい！ いいですうう！ よしゆぎてダメ！ おまんこよすぎて、んああ♪ 震えとまんにやいれすう！！」

【みなと】

「はひあああっ、あああんっ……あ、あ、あっああっ……！ ダメ、ダメダメダメエエ！！しゅごいい！ あ、あ、ああっ！？ おまんこダメ！ 壊れちゃう！！」

【みなと】

「しえんぱい、ったら！ こんな、最初から激しっ、あ、あああっ！ やっ！ らめえ♪ おちんぽちゆきい！ おちんぽせっくしゅしゅいれすうう！」

【みなと】

「はっ！ やっ！ んあっ！ イクっ！ あ、あ、あ、んあああっ！ もうイク！ イっちゃいましゅう！ こんな、早くイクなんて、やっ！ ダメ！ もっとおちんぽきゅつきゅしゅりゅの！ おまんこできしゅしゅりゅのお願いのお！！」

【みなと】

「んひっ！？ お、お、お、お……ダメえ！ オマンコ、イグ……！ いっぢやいましゅっ！！ ん！ んんんんっ……？？」

【みなと】

「んはっ！ しえ、しえんぱいい！！ すみませ
ん！ 先イキます！ オマンコ先イギましゆう
ううう！！ やあっ！ あ、あ、あっ、ああ
ッ！！ イクッ！ イクイクイクイクッ！ イ
ッグううううううう！！！」

【みなと】

「あ、んひやああーッ！！ あっ！ ああああ
あっ！！ しえ！ しえんぱい！ んああ！
やあっ！ ら、らめえッ！ イッでりゆの
にい！ おまんこお潮吹いてるのにい！ 腰パ
ンパンって止まんないのらめええええ…
……！！」

【みなと】

「んあっ！ やっ！ あ、あ、ああっ！ ひやあ
ッ！ あっ、あっ、ら、らめなんれすけど、
わ、わふッ！ え、えへへ……そうれすう……
しえんぱいが、んっ！ 気持ちよくなるためな
ら、なんろれもイかせてくれて構いまひえんか
らあ……♪」

【みなと】

「んっ！ う、は、ああああんっ！ は、
はあっ！ あ、あ……あ、ああんっ！」

【みなと】

「はうんッ！ ひやっ！ やっ！ あっ、あっ、
あうっ！ も、もっとお！ おまんこ使って気
持ちよくなってくだしい！」

【みなと】

「んあ♪ あ、ああ！ わたひのおまんこも、しえんぱいのおちんぽ歓迎してましゅからあ！！！」

【みなと】

「ひやうううっ！ んああ♪ おちんぽみりゅくでおまんこイク準備出来ひやってましゅからあああああ！！！！！」

【みなと】

「ひやわあああ！？ ああ！ あ、あ、あっ！ あああっ！！ んああっ！ はふっ！ んんっ！ だ、だから……どうか、このまま膣中出ししてくらしゃい！」

【みなと】

「あ、ああ♪ このまま私の事孕ませるつもりでいっばいおまんこいじめて！！ パンパンしてえ！！！」

【みなと】

「はひゅん！？ んひゃあ！ はあ、ひゃんっ！ あ、あっ、ああっ！ 先輩の腰もつと激しくなっ、ひうっ！！！」

【みなと】

「本気ピストンッ！ あっ、やあ！ んっひゃああ！ あ、ああっ！ そこお！ ふあああ！ もう何回もおまんこイってますう！」

【みなと】

「しえんぱいもイッてくだひゃい！ 私のおまんこで！ とろとろおまんこでえっ！ 思いっきり気持ちよくなってくだひゃいいい！！！」

【みなと】

「んっ！ やぁあんっ、んはあっ！ ああっ、イッちゃうう！ 私も大きいのキて、またおまんこイキますう！」

【みなと】

「おまんこ、イク！ イク！！ イク！！！！ イクイクイクイク！！ イツくうううううう！！」

【みなと】

「んっ！ ひゃああっ！ はっひゃああああああああああっ！！」

【みなと】

「んあっ、あ！ あああああああっ！！ らめえええ！ おもらしい！ エッチなおもらしいい！ お潮出ひやってましゅうう！んっ！ あああ！ あ、あ、やあっ！ んひゃあ！ ダメえ！ おかしくなりまひゅ！ エッチなお汁出たり入ったり頭おかひくなっひやいましゅうう！！」

【みなと】

「んんっ！ やあっ！ はっ！ はひゃっ！？ しえ、しえんぱい！？ しょんな射精しながらエッチなんて！？ わ！ わふうっ！！」

【みなと】

「んひゃっ！！ お、っ、お、お、っ……♪ イグ
ウ……♪ まらいっぢやいますうう♪ わらひ
のおまんこおかひくなっひやいましゅうう！！
んひゃああっ！！ やあ！ ら、らめれすう
……！ ト、トンじゃう、う、う、……！ ん
あっ！ あ、やっ！ ひゃああっ！ これえ！
ダメになっひやいましゅうおお♪」

【みなと】

「はあ、はあ……ひっ、ひうう……あっ、ああっ
……♪ ぐちゅぐちゅエツチな音鳴ってま
しゅう♪ んあっ！ やっ！ やらあっ！
は、はずかちいでしゅよおっ！ うっ、
うううっ！ あ、あ、ああっ！」

【みなと】

「んあああ！ こんなエツチ初めてっ！ あ、
ん、やっ！ ひやううう！ あっ、あっ！
やああ！ 止まんない！ 止まらにやい！ お
まんこイクのとまんにやいいい！！」

【みなと】

「あっ！ あああっ！！ 先輩い！ 先輩！ 先
輩！ しえんぱいい！ しゅきいっ！！ すき
すきすきすき！ 大好きいいいい！」

【みなと】

「先輩の顔が好き！ 性格が好き！ 声が好き！
匂いが好き！ 可愛い目が好き！ すぐ照れ
るところが好き！ 優しいところが好き！」

【みなと】

「力強いのが好き！ 撫でてくれるのが好き！
いっぱい愛してくれるのが好き！ おちんぽで
気持ちよくしてくれるのが好きいい！！」

【みなと】

「好きいい！ すきすきいい！ 全部好き！ 愛して
ます！ 愛してましゅ！ しえんぱいい
いい！！」

【みなと】

「またイってくだひゃい！！ おまんこ孕ませる
つもりで思いっきりぴゅっぴゅしてくだしゃ
いいいい！！」

【みなと】

「んひゃああ！！ イぐう！！ わらひもまたイ
キまひゅううう！！ イグイグイグイグ！！
イっぐうううううううう！！！！！！」

【みなと】

「あっ、ひゃあああああああああっ！！」

【みなと】

「んひゃああッ！ あっ、ああああッ！！ 出て
ましゅッ！ ダメ押しの膣中だしきてましゅう
ううう！！」

【みなと】

「ううう！ はひゃああああ！ 子宮がいっぱい
れえ……♪ 精液どぴゅどぴゅう……♪ ん
ああ♪ おまんこから溢れてえ……♪ イク
ッ、またイク イッ……クウウウ！！」

【みなと】

「んひやあぁっ!! おまんこまたイっひゃつ
たぁぁ……♪ おまんこ熱いい……♪ しゅぐ
くあちゅいのお……♪ 蕩けちゃうう……おま
んこ精液で蕩けちゃうう……♪」

【みなと】

「全部おまんこで飲んであげましゅからぁ♪ 先
輩のおちんぽでおまんこに栓してくださいい♪
こぼさない様に、ずっとこのまま……♪」

【みなと】

「あっ……んにゃっ♪ 先輩♪ 好き、スキスキ
イ♪ 大好きい♪ 好きすぎて……幸せすぎて
……んもう、先輩以外何も考えられないです
よぉ♪ すきい……愛してます、誰よりも愛し
てますう♪」

【みなと】

「んあっ、あ、あ……♪ はふっ! はぁ、
はぁ、はぁ……んん♪ はふう……♪ やっ
と、んん♪ 少し、落ち着いてきましたぁ……
……♪ んもう先輩ったら♪ 興奮しすぎですよ
……♪」

【みなと】

「あっ、またおまんこからぶびゅって精液出て……
……ううう、何だかもったいないですね……」

【みなと】

「そうだ! 先輩! 今日はこのままおちんぽお
まんこに入れたまま寝ちゃいませんか?」

【みなと】

「一晩かけてじっくり精液堪能したいんです……
あのおう、ダメ、ですか?」

【みなと】

「やった♪ ありがとうございます、先輩♪」

【みなと】

「じゃあこのまま抱き合いながらおねむしちゃい
ましようか♪」

【みなと】

「わふう♪ おちんぼ入れながら横になると、こ
れまた角度が変わって……えへへ♪ 気持ちい
いですう♪」

【みなと】

「ん？ あれ？ 先輩？ もしかしてあれだけ出
したのにまたエッチな気分になっちゃいました
か？」

【みなと】

「もしシたくなったら言ってくださいね？ さっ
きも言った通り、私の全ては先輩のものなん
ですから♪」

【みなと】

「いつでもどこでも先輩だけが私を好きに出来る
んです♪」

【みなと】

「ですから……先輩だけの忠犬みなとを、これか
らもうっぱい可愛がってくださいね♪」

トラック09_おまけ_わんこのあまママ耳かき膝枕

【みなと】

「せーんぱい♪ えへへ〜♪ どうですか？
私のお膝の上は♪ ん、あ、こら♪ もぞも
ぞしちゃ……あん♪ くすぐったいですよお〜
♪」

【みなと】

「わふう♪ 今から私が耳かきしてあげますか
ら、ちよつとだけ大人しくしててくださいね〜
〜♪」

【みなと】

「はい、いい子ですね〜♪ それじゃあ、まずは
右耳から〜……」

【みなと】

「どうですか？ センぱ〜い♪ 気持ちいいで
すか〜♪ ん、んん♪ 小さい頃はよく妹の耳
かきをしてあげてましたからね〜♪ ん、しよ
……んん♪ 少しは、ん、心得があるんですよ
〜♪」

【みなと】

「ん、しよっ……んん……？ ここ、少し……ん
ん……こりこりい……ん、わふうう……しばらく
く……ん、お掃除してなかった、からあ……
ん、んん……もう少し、奥ま、でえ……」

【みなと】

「ん、んん〜♪ 段々、先輩の気持ちいいとこ
ろ、ん分かって、きまし、た♪ ん、しよ……
ん、しよ……えへへ〜♪ ふんふ〜んん♪
ふふ〜んん♪ ふふふふ〜んふふ〜ん
ん♪」

【みなと】

「せんぱい♪ 先輩せんぱい♪ わふふうう♪ お耳真っ赤にしちゃってええ♪ 気持ちよさそうですね♪」

【みなと】

「ん、んん……♪ こうやってえ……ん、先輩を可愛がってあげてるとおろ♪ ん、わふ♪ 何だかお母さんになったみたいで……すつく、こう、えへへ♪ 嬉しくなっちゃいますうう♪」

【みなと】

「ほら♪ せんぱい♪ こしよこしよ……♪ ん、えへへ♪ んん♪ こしよこしよ♪ ほら♪ みなとママに甘えちゃってくださいね♪ ん、しよん♪」

【みなと】

「ん、それじゃあ最後に……ふうふううう♪ ふっ！ ふっ♪」

【みなと】

「えへへ♪ これでこっちのお耳掃除は完了です♪ 次は反対ですね♪ さあ、先輩♪ こっちにゴロンってしてください♪」

【みなと】

「ん♪ えへへ♪ 先輩の顔がこちにきまりました♪ わふうう♪ 先輩可愛いですうう♪ ちゅきい♪」

【みなと】

「ん、じゃあ♪ このままみなとママがお耳こしよこしよしてあげまちなね♪ そのままじゅとしてください♪」

【みなと】

「ん、んん♪ わふうううう♪ こしよこしよ
うう♪ こしよこしよううう♪ こすこすこす
こすうう♪ こすこすこすこすうう♪」

【みなと】

「んん……えへへ♪ ここが気持ちいいんです
かあ？ えへへ♪ 先輩の弱点見つけちゃい
ました♪ ん、しよ♪ んううしよ♪」

【みなと】

「ほくら先輩♪ 遠慮なんかしないで……ん、
もっと私のお腹に、顔♪ うずめちゃってくだ
さい♪」

【みなと】

「ん、あはは♪ 先輩ったらうう♪ くすぐりたい
ですようう♪」

【みなと】

「ん、えへへ♪ ほんっと、元気な赤ちゃんな
んですからうう♪ ようしよしよし♪ んんう
う、もうちよっとで耳綺麗になりますからねう
う♪」

【みなと】

「ん、しよ……ん、しよ……♪ んんんんうう♪
こすこすうう♪ こすこすうう♪ いいんで
すよおう♪ みなとママに甘えてくださいねう
う♪ ほくらあ♪ こすこすうう♪ こすこす
うう♪」

【みなと】

「もう終わりますからねう♪ んんう♪ こすこ
すう♪ 段差の部分も……んん♪ カリカリう
う……っとお……」

【みなと】

「はい♪ ではこちらも~~~~.....ふう
ううう~~~~~~~~♪ ふっ！ ふっ♪」

【みなと】

「わふうう♪ せくんぱい♪ お疲れ様でした♪
♪ これで両耳とも終わりです♪」

【みなと】

「わふう♪ 耳かきされて気持ちよさそうにして
る先輩、とっても可愛かったですよ？ わふ
ふう♪」

【みなと】

「また耳かきして欲しくなったらいつでも言っ
てくださいね♪ 私のお膝はいつでも開けてあり
ますから♪」

トラック10_おまけ_甘えループ

【みなと】

「えへへ♪ しえんぱい♪ 好き♪ すき
すき♪ 大好きい♪」

【みなと】

「んっちゅっ♪ ちゅっ、ちゅっ♪ 好きい…
…ちゅきい♪」

【みなと】

「ちゅっ、ちゅっちゅっ♪ んちゅっ、ちゅっ♪
わふう♪ 大ちゅきい♪」

【みなと】

「もっときすう……ん、ちゅっ、ちゅ……ちゅぶ
……はむ、んっ、ちゅっ……」

【みなと】

「んちゅっ、れろ……れろれろ……ちゅっ、
ちゅうう……んっ、ぶはっ」

【みなと】

「んっ……えへへ、先輩好きい♪ んーちゅっ
♪」

【みなと】

「ん……好き……すきい……♪ 大好きい……♪
ちゅっ♪ ちゅっ、ちゅうう♪」

【みなと】

「好き……大好き……愛してます……」

【みなと】

「んちゅっ……れろっ……れろれろ……あむっ、
ちゅっ、ちゅぶっ、れちゅっ♪」

トラック11_おまけ_左耳舐めループ

『左耳』

【みなと】

「はぶっ……んっ……んぶっ……れろっ、れろっ
……ちゅっ……んぶっ……ちゅっ……く
ちゅっ、れろっ……んーちゅっ……」

【みなと】

「れろっ……んんっ、れろれろ……くちゅ、ん
ん、ちゅ、ちゅ、ちゅっ♪ れろっ……んっ…
…くちゅ……れろっ、ちゅっ……ちゅくっ…
…」

【みなと】

「んっ、ちゅっ……ちゅぶっ……はあむ、れろ…
…ちゅっ……ちゅぶくちゅっ……ちゅっ、れろ
……れろれろ……ちゅっ、はむっ……ちゅっ、
ちゅっ……はぶちゅっ……」

【みなと】

「んっ、くちゅっ……ちゅうっ、じゅるっ、
ちゅっ……んちゅっ……れろっ……れろれ
ろっ……ん、ちゅっ……ちゅぱっ……んっ
……れろっ……くちゅ……」

【みなと】

「ん……ちゅっ……ちゅぶっ、んちゅっ♪
れろ、ちゅりゅ……れろれろ……れ、ん
ちゅっ、ちゅぶっ……れろれろれろ…
ちゅううう……んちゅぶっ……」

トラック12_おまけ_右耳舐めループ

『右耳』

【みなと】

「はぶっ……んっ……んぶっ……れろっ、れろっ
……ちゅっ……んぶっ……ちゅっ……く
ちゅっ、れろっ……んーちゅっ……」

【みなと】

「れろっ……んんっ、れろれろ……くちゅ、ん
ん、ちゅ、ちゅ、ちゅっ♪ れろっ……んっ…
…くちゅ……れろっ、ちゅっ……ちゅくっ…
…」

【みなと】

「んっ、ちゅっ……ちゅぶっ……はあむ、れろ…
…ちゅっ……ちゅぶくちゅっ……ちゅっ、れろ
……れろれろ……ちゅっ、はむっ……ちゅっ、
ちゅっ……はぶちゅっ……」

【みなと】

「んっ、くちゅっ……ちゅうっ、じゅるっ、
ちゅっ……んちゅっ……れろっ……れろれ
ろっ……ん、ちゅっ……ちゅぱっ……んっ
……れろっ……くちゅ……」

【みなと】

「ん……ちゅっ……ちゅぶっ、んちゅっ♪
れろ、ちゅりゅ……れろれろ……れ、ん
ちゅっ、ちゅぶっ……れろれろれろ…
ちゅううう……んちゅぶっ……」